

事業所評価表（職員）

所属：なないろ相談支援事業所

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容は改善目標
環境・ 体制 ・ 業務 改善	① 利用定員において指導訓練室・居室等のスペースが適切である	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	② 職員配置数は適切である	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化等の配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	④ 事業計画の下、業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		
	⑤ 事業所評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して利用者・利用者・家族等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	今年度から取り組む	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%		調査の実施に際しては一定期間を設定する必要がある。
	⑦ この自己評価結果を業務改善につなげている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保し、参加している	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	⑨ アセスメントを適切に行い、利用者や利用児と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画をサービス管理責任者や児童発達支援管理責任者が作成している	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		個別支援計画やモニタリングを通じて確認する。
	⑩ 利用者・利用児の適切な状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
	⑪ 活動内容や支援内容等の立案を個人単位でなくチームで行っている	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		
	⑫ 活動プログラムや支援が固定化しないよう工夫している	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		評価・改善方法を検討する。
	⑬ 利用児の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた個別支援計画を作成したり、利用者の課題やストロングスに応じた活動や支援内容が組み合わさった個別支援計画を作成し、日々取り組んでいる。	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		積極的なやり取りを行う。
	⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	⑮ 支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%		取組内容方法を記録し、共有する。
	⑯ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特徴・改善につなげている	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		
	⑱ 放課後等デイサービスガイドライン、障害者総合支援法、児童福祉法等の関係法令や制度に則り支援を行っている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	家族・ との 連携 機関	⑲ サービス担当者会議にその利用者、利用児の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
⑳ 家族や関係機関との情報共有（年間計画・行事予定等の交換）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
㉑ 医療ケアが必要な利用児・利用者を受け入れる場合は、主治医等と連絡体制を整え、適宜報告をしている		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
㉒ 利用開始前に開始前の関係機関（保育所や幼稚園、認定こども園、他事業所等）との間で情報共有と相互理解に努めている		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
㉓ 終了した後、他事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		連携方法を確立させる
㉔ 専門機関（児童発達支援センターや発達障害者支援センター等）と連携し助言や研修を受けている		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
㉕ 他事業所や地域等の交流や、活動する機会があるか		50.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
㉖ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
㉗ 日頃から利用者・利用児の状況を家族や関係機関へ伝え、状況や課題について共通理解を持っている		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
㉘ 利用者・利用児の支援だけでなく家族への支援を行っている。（ヘルプシートやモニタリングやレポート提案等）		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
利用者・ 利用 児・ 家族 への 説明 責任 等	㉙ 運営規程、支援の内容、利用者負担額等について理解し、丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	㉚ 利用者・利用児・家族等からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な言と支援を行っている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		情報収集を行う。
	㉛ 父母の会の活動を支援したり、保護者会や家族会等を開催する等により、連携を支援している	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
	㉜ 定期的に会報等を送行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者、利用児、家族に対して発信している	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	㉝ 個人情報取り扱いに十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	㉞ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	㉟ BCP、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や利用者、利用児、家族に周知している	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
	㊱ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	㊲ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	㊳ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者、利用児、家族に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画や緊急やむを得ない身体拘束に関する説明同意書に記載をし、運営検討会議をした上で、常態化しないようにしている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
㊴ 食物アレルギーのある利用者や利用者について、医師の指示書に基づき対応がされている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
㊵ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し、活かしている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			